

# 「古代米の梵天で高校受験全員合格」祈願

本荘東中学校 3 年生による古代米の田植え稲刈り体験を実施

5 月25日東中 3 年生132名が古代米の苗を使い、田植えを行いました。

今年の生徒会のスローガンは「∞（無限大）の力!!～今こそつくれ 8 年目の伝説」です。

無限の力で今こそ東中を変えていこうとの思いで、今年は【POWER】という文字にしたそうです。

日々校舎から見下ろす圃場に POWER という文字が浮かび上がっていく様子を見ながら、学業・部活に頑張っていたと思います。

8 月31日古代米部分だけの稲刈りをし、その刈り取った稲を使って梵天を作り12月 7 日に寄贈しています。

梵天には高校受験合格・交通安全の願いが込められています。



活動体制	
実施主体	本荘子吉環境保全活動組織
後援・連携	水土里ネット子吉
実施期間	平成24年 5 月～12 月
参加者	本荘東中学校 3 年生他（132名）
報道関連	特になし
活動実施年数	10 年目（H15 年～）
連絡先	〒015-0042 由利本荘市埋田字小館81-16 由利本荘市子吉土地改良区 TEL. 0184-22-0426
その他	県奨励賞（H17）、県知事賞（H21）

## 【活動内容に対する自己評価】 水土里ネット子吉（渡辺 聡）

○活動の目標及び達成率	目標 東中 3 年生全員参加 達成率 100%				
○活動に対する評価	・本荘東中学校も開校 8 年目となり、開校以来続いてきた田植え・稲刈りは学校行事と定着し、生徒会が主体となってきて今後も継続していきたい。				
判定基準	自己判定（達成度）		判定基準	自己判定（達成度）	
	判定	評価等		判定	評価等
1. 取組体制について			④運動の PR	C	年 1 回の広報で知らせる程度に終わっているため、積極性には欠ける
①役職員・組合員の参加	B	全組合員までは周知がはかれないため積極的な参加までは出来ない	4. 運動の成果		
②後継者育成の工夫	C	運動に参加している生徒が、将来後継者になるかは定かでない	①他組織との連携構築	B	環境保全組織、改良区とは連携が構築されているが、それ以上の発展はない
2. 活動の意義性について			②地域住民等の理解	C	水土里ネットの重要性については理解が薄いと思われる
①基本理念の設定	A	東中の生徒会中心に活動に参加してもらい、農作業を通じ将来農業に関心を持ってもらいたい	③施設管理・地域資源の保全強化	B	農地の保全にはつながっていると思われる
②地域の歴史等の伝承	B	先人が苦勞して農作業をしていたとは伝わっていると思われる	④運動の地域づくりへの関わり	B	地域の関わりはあるが、大きくはない
③運動の先駆性	B	他の団体から問い合わせ等があれば、手本となることは可能と思われる	⑤農地・水・環境保全向上対策への貢献	B	環境保全組織は大きく貢献している
3. 運動の継続性・発展性			⑥地域農業振興への貢献	C	地域農業の振興までは貢献出来ていない
①運動の継続性	A	今後も継続的に活動できる	5. 今後の課題等について		
②運動の発展・拡大	C	授業の一貫として行っているこれ以上の発展は無理なのかと感じる	・事業の継続は今後も可能であるが、地域住民への関心を広げる努力が必要と思われる。		
③運動の計画性	B	毎年生徒会が中心となって計画を立てているので、位置づけは出来ている			

（自己判定）A：大いに達成している B：達成している C：少しは達成している D：達成していない E：その他